

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第49週）

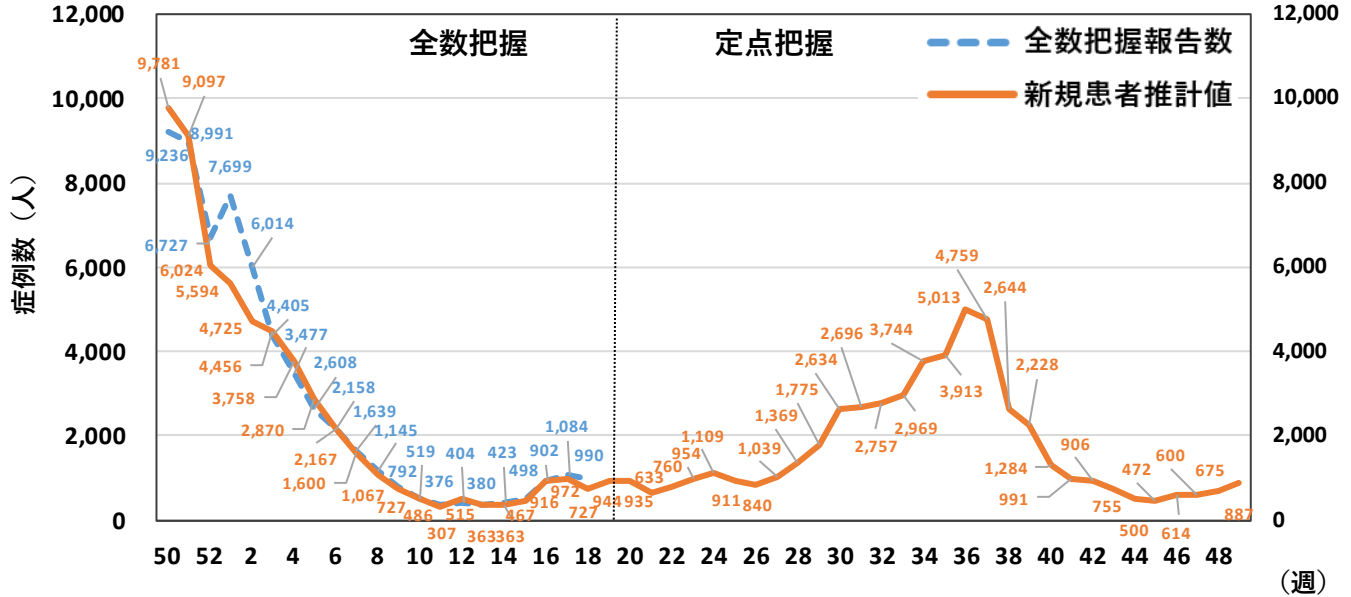
富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和5年 第49週分 12月4日～12月10日（12月13日時点速報値）

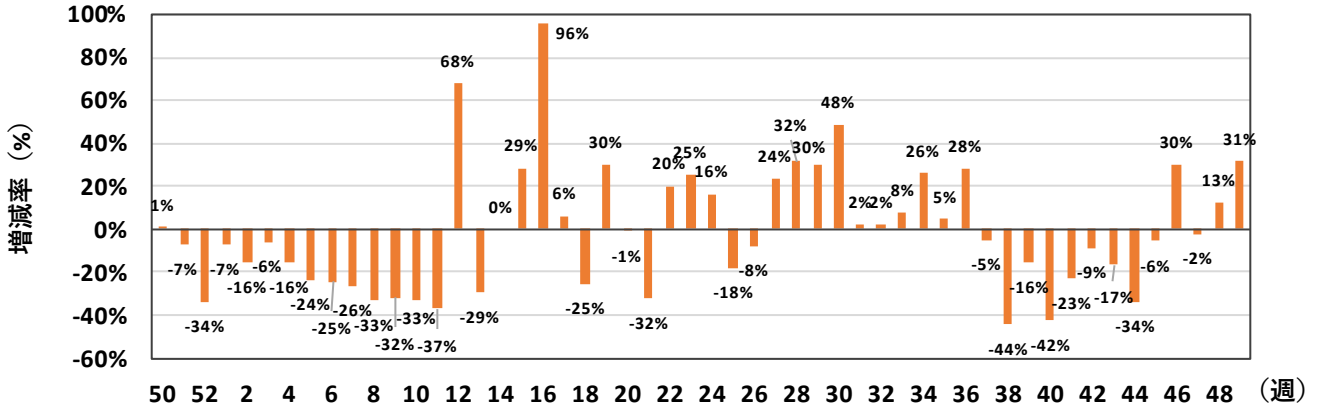
定点医療機関新規報告数：188人、定点医療機関当たり3.92人、新規患者推計値※：887人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

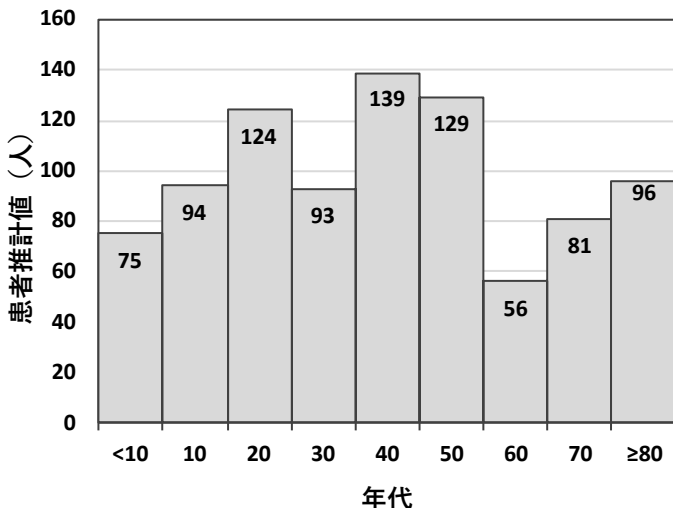
## 図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）



## 図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出



## 図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第49週）



## 図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第49週）

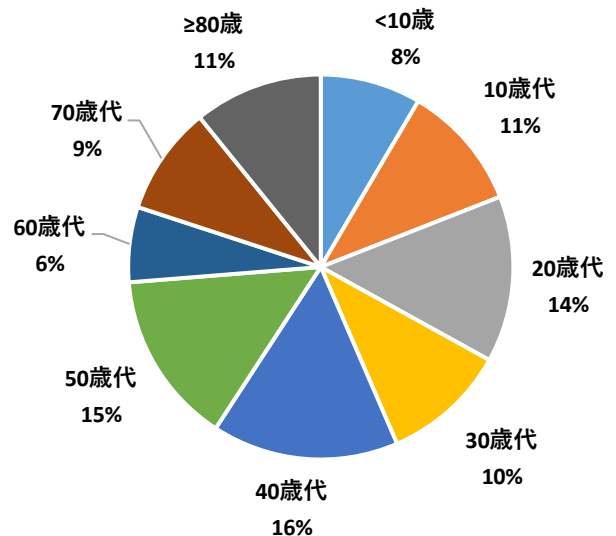


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移（富山県）

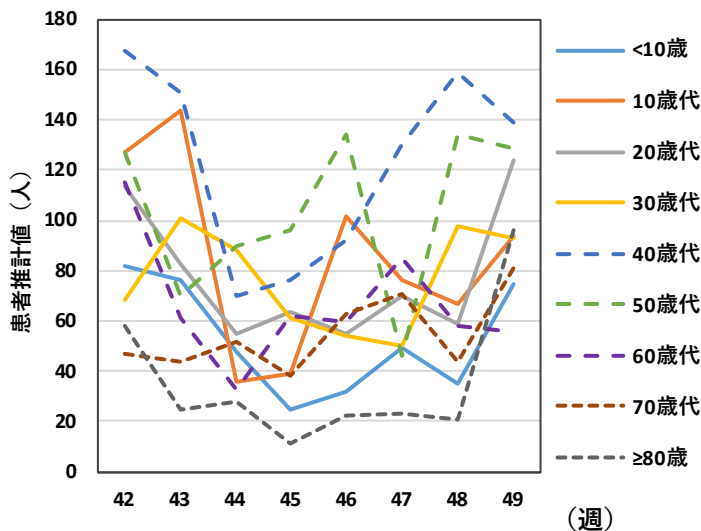
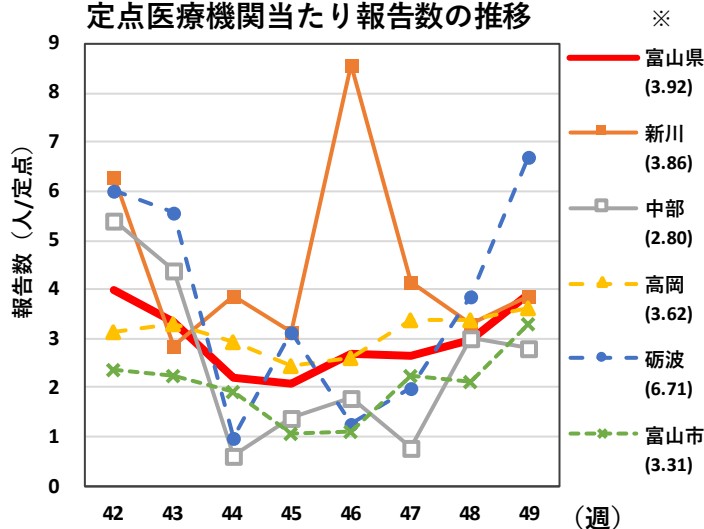


図6. 厚生センター・保健所管内別  
定点医療機関当たり報告数の推移



※ ( ) 内は今週の定点当たり報告数

図7.COVID-19入院サーベイランス  
年代分布（第49週、16例）

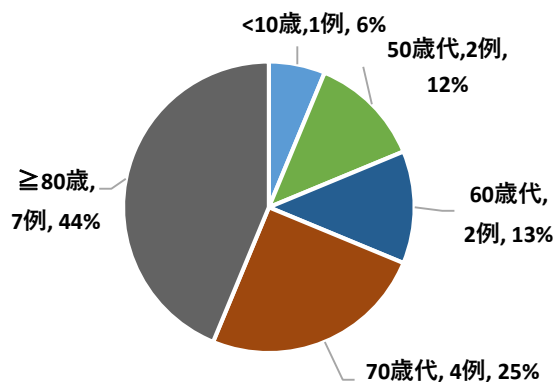
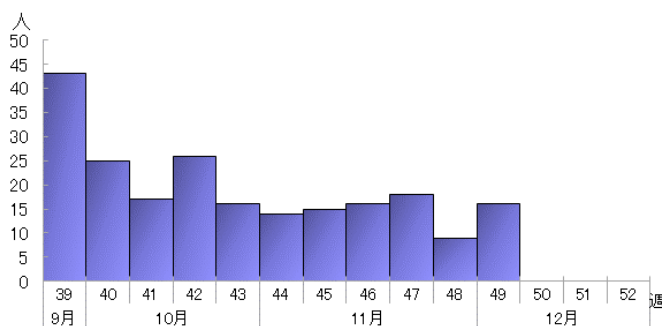


図8.COVID-19入院サーベイランス  
患者報告数の推移（富山県）



**第49週（12/4～12/10）時点での所見と評価**

- 第49週の定点医療機関当たり報告数は3.92人、新規患者推計値は887人であった。前週推計値（第48週、675人）から31%増加した。（図1、2）。
- 第49週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。40歳代が最も多く16%を占め、次いで50歳代（15%）、20歳代（14%）の順に多くを占めた。60歳以上の割合は26%で先週（18%）から増加した。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。10歳未満～20歳代、70歳以上が先週から増加した。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で3.92人/定点であり、先週（2.98）から増加した。砺波、富山市管内で増加がみられ、その他の管内ではほぼ横ばいであった。特に砺波管内では46週以降増加傾向が続いている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第49週に16例の入院報告があり、先週（9例）から増加した。年代分布は、70歳代が4例、80歳以上が7例で、70歳以上が約2/3を占めた。（図7、8）。
- 第45週まで減少傾向であった患者報告数が2週連続で増加しており、今後の発生動向を注視していく必要がある。